特集 北海道 交通安全

間もなく冬本番

スリップ多発、訪日客もピーク

道民の安全意識高揚を徹底

関係機関・自動車業界が協力

間もなく本格的な冬を迎える北海道。道内では11月に交通事故防止に向けた「冬の交通安全運動」が展開される。関係機関や業界団体が連携し、さまざまな活動を通じて道民の交通安全意識の高揚を図る方針だ。

11月13～22日 冬の交通安全運動

北海道警察がまとめた2026年の道内の人身交通事故発生状況によると、10月22日時点で件数は7106件（前年同期比574件増）、死者数は90人（同10人減）、傷者数は8386人（同804人増）だった。

件数と傷者数が増加する一方で、死者数は減少しているが、10月に入ってからも旭川市などで死亡事故が発生している。7月以降は死者数が3カ月連続で過去5年平均を上回っており、積雪によりスリップ事故が多発する冬場にかけては、さらに増える可能性もある。

冬の交通安全運動は11月13～22日の10日間で、主催は北海道と北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、市町村、北海道交通安全推進委員会、北海道交通安全協会、北海道安全運転管理者協会。

運動の重点は、①高齢者を始めとする夕暮れ・夜間の歩行者事故防止②スリップ事故防止③飲酒運転の根絶。関係機関・業界団体などが緊密に連携し、交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進する。

重大事故相次ぐ 外国人レンタカー

国内有数の観光地の北海道は特有の課題を抱える。訪日外国人旅行者によるレンタカー事故の多発だ。24年度の道内における外国人のレンタカー利用は前年度比1・4倍の約14万件に拡大した。一方、韓国や台湾、香港などの国・地域からの旅行者が多く、左側通行や交差点での優先関係、一時停止規制など、日本の道路交通事情に不慣れな状態で運転を開始するケースも目立つ。7月には道内で外国人旅行者が運転するレンタカーの死亡事故を含む重大事故が相次いで発生した。

こうした状況を受け、関係機関が連携して外国人旅行者に安全運転を直接呼びかける取り組みが9月10日に新千歳空港で行われた。北海道運輸局や北海道警察、北海道地区レンタカー協会連合会、日本損害保険協会北海道支部、日本自動車連盟（JAF）札幌支部などが参加し、到着ロビーのレンタカーカウンターを中心に活動を展開した。

道内では外国人の運転するレンタカーが踏切に進入して列車と接触する事故が相次いでおり、鉄道会社が作成した踏切事故防止のチラシなどを配布した。一時停止せずに事故につながるケースも目立つため、標識の実物を用意して安全運転を呼びかけた。

道警の統計によると道内のインバウンド客が当事者となる大きな事故の発生件数が7月末時点で昨年1年間の水準に並んだ。北海道地区レンタカー協会連合会などは海外からの旅行客がピークを迎える冬季にも同様の取り組みを計画する。



チラシや標識を用意し、外国人観光客向けに安全運転の理解促進を図った（新千歳空港）

北海道警察 岩崎 靖一 交通部長



本年3月、交通部長に就任しました岩崎でございます。日刊自動車新聞の読者の皆さま、並びに自動車業界の皆さまにおかれましては、平素から警察行政、とりわけ交通警察が推進する諸対策に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

■2026年の北海道における交通情勢

さて、本年の北海道における交通情勢を顧みますと、9月末現在の交通事故死者数は79人（前年同期比11人減）と減少傾向にあるものの、交通事故の発生件数は6525件（同590件増）と増加に転じており、依然として予断を許さない状況が続いています。

交通事故の特徴としては、人対車両の事故が発生件数、死傷者数ともに増加しており、このうち死亡事故つきましては半数以上が薄暮から夜間にかけて発生しています。

「思いやり」と「譲り合い」で

ドライバーの一瞬の不注意や油断が、かけがえのない命を奪う悲惨な事故につながることを、改めて強く認識しなければなりません。

■道路交通法の改正に伴う基本ルールの徹底

また、本年は皆さまにとっても関心の高い内容を含む道路交通法の改正が相次いで行われました。4月には自転車に対する交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が導入され、自転車は「車道走行が原則」であることや「一時停止の徹底」といった基本的な交通ルールを改めて知る重要な機会となりました。自転車も車両の一種であり、ヘルメットの着用をはじめとする、自転車安全利用の徹底が求められます。

さらに、悪質・危険な運転の代表格である「飲酒運転」につきましても、酒酔い運転の適用に数値基準が明確化されました。飲酒検知の結果、呼気1リットル当たり0・5ミリグラム以上であれば酒酔い運転となり、この状態で人身事故を起こした場合には、危険運転致死傷罪が適用されるなど、法的処罰が厳格に行われることで飲酒運転に対する社会的非難は強まっています。

改めて、「飲酒運転をしない、させない、許さない」、そして見逃さない」を合い言葉に、飲酒運転を許さない社会環境づくりの推進にご協力をお願いいたします。

加えて、歩行者優先の交通環境を整備するため、いわゆる生活道路における法定速度が「時速30キロメートル」に引き下げられました。これは、子どもや高齢者などの歩行者、さらには自転車が多く通過する生活道路において、車両の速度を抑制して事故を防止するとともに、万が一の衝突時における被害を軽減させるための重要な施策です。ドライバーの皆さまは、常に歩行者の飛び出しを予見した「思いやりと譲り合い」の気持ちを持ってスピードダウンを徹底してください。

■初冬期に向けたスリップ事故の防止

北海道はこれから本格的な冬を迎えますが、とりわけ注意が必要なのが秋から冬への移行期である「初冬期」です。この時期は、夏道感覚から冬道運転への切り替えが間に合わず、積雪や路面凍結によるスリップ事故が発生します。

「ブラックアイスバーン」など、路面状況の急変に対応するためには、早めの冬タイヤへの交換はもちろんのこと、「急ハンドル」「急ブレーキ」「急発進」といった「急」のつく操作を避ける丁寧な運転が不可欠です。

自動車業界の皆さまにおかれましては、自社車両の点検や早めの準備はもとより、地域のドライバーに対する早めの冬用装備の呼び掛けなど、冬期における交通安全啓発にご協力を賜りますようお願いします。

■おわりに

2026年も残すところ2カ月余りとなりました。年末に向けて交通量の増加や天候の悪化が予想され、一年のうちでも特に交通事故が発生しやすい時期を迎えます。

北海道警察といたしましては、速度違反や飲酒運転など、交通事故に直結する悪質・危険な交通違反の指導取締りを強化するとともに、歩行者とドライバーが相互に思いやりを持って意思疎通を図るための「ハンドサインでストップ運動」など効果的な交通安全教育・広報啓発活動を推進し、交通事故の抑止に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、日常の事業活動や顧客接点のあらゆる機会を通じ、自動車業界それぞれの視点による適切な車両点検の励行や夕暮れ時の早めのライト点灯、シートベルトの全席着用といった事故防止アドバイスを発信していただき、北海道から悲惨な交通事故をなくすため、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安全で、安心な交通社会の実現を願って!

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 札幌支部
支部長 池田義典
副支部長 横井隆
副支部長 越川裕一郎
副支部長 井上幸彦
専務理事 山本隆志
札幌市東区北二八条東一丁目 札幌自動車会館
電話（〇一一）七五二―五一六二（代表）

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 旭川支部
支部長 松倉直幸
副支部長 西河秀人
副支部長 押野翔
専務理事 牛田勝也
旭川市春光町一〇番地
電話（〇一六六）五一―五三五三（代表）

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 北見支部
支部長 河合昭徳
副支部長 村井彰
副支部長 松浦利幸
専務理事 藤井芳美
北見市東三輪五丁目五番地一三
電話（〇一五七）二四―八三二一（代表）

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 釧路支部
支部長 坂根篤
副支部長 工藤健雄
専務理事 藤王紀明
釧路市鳥取大通六丁目一番一号
電話（〇一五四）五一―一三三二（代表）

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 帯広支部
支部長 若林剛
副支部長 村松一樹
副支部長 石原直樹
専務理事 角田雅紀
帯広市西一九条北一丁目三番一九号 帯広自動車販売協会会館内
電話（〇一五五）三二―二三八（代表）

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 函館支部
支部長 河村祥史
副支部長 堀田易
専務理事 松浦眞人
函館市西桔梗町五五番地三七
電話（〇一三八）四九―六一〇六（代表）

一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会
会長 横井隆
副会長 杉本亙
副会長 藤倉千秋
副会長 越智裕人
副会長 早坂喜幸
専務理事 内木義昭
常務理事 三野雅章
札幌市東区北二四条東一丁目一番一二号
電話（〇一一）七五一―一四一一（代表）

一般社団法人 帯広地方自動車整備振興会
会長理事 石原英樹
副理事長 若林剛
副会長 西部栄司
副会長 阿部忠治
副理事長 金尾泰明
副理事長 西本徹
専務理事
帯広市西一九条北一丁目八番三号 帯広自動車連合ビル内
電話（〇一五五）三三―三一六六（代表）

札幌地区軽自動車協会
会長 佐野良成
副会長 杉本亙
副会長 溝田健
専務理事 臼谷要介
札幌市北区新川五条二〇丁目一―一〇
電話（〇一一）七六八―三九五五（代表）

旭川地区軽自動車協会
会長 佐藤浩光
副会長 松倉直幸
副会長 佐野良成
専務理事 関澤史郎
旭川市春光六条五丁目一番一二四号
電話（〇一六六）五三―七三〇〇（代表）

北見地区軽自動車協会
会長 佐野博
副会長 村井彰
専務理事 成田啓
北見市東三輪三丁目二五番地二五
電話（〇一五七）二四―六一三〇（代表）

釧路軽自動車協会
会長 青木健次
副会長 上原彰人
専務理事 佐藤由篤
釧路市鳥取大通六丁目一番一一号
電話（〇一五四）五一―〇七四五（代表）

帯広地区軽自動車協会
会長 鈴木修士
副会長 石原隆
副会長 大西啓文
事務理事 西本徹
事務局長 太田義彦
帯広西一九条北一丁目八番三号 帯広自動車連合ビル内
電話（〇一五五）三三―三一五四

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF） 北海道本部
本部長 原田彦工門
副本部長 西川友晴
札幌市豊平区月寒東一条一五丁目八―一
電話（〇一一）八五七―七一三〇（代表）

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF） 札幌支部
支部長 西川友晴
副支部長 越川裕一郎
副支部長 井上幸彦
札幌市豊平区月寒東一条一五丁目八―一
電話（〇一一）八五七―七一三〇（代表）

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF） 旭川支部
支部長 西河秀人
副支部長 松倉直幸
旭川市高砂台一丁目一番一号
電話（〇一六六）六九―二一一一

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF） 北見支部
支部長 村井彰
北見市西三輪一丁目六五七―三
電話（〇一五七）六六―五二二〇（代表）

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF） 釧路支部
支部長 坂根篤
釧路市鳥取大通八丁目二番一一
電話（〇一五四）五一―二一六七

道内各地区 自動車業界の取り組み

札幌・室蘭地区

試乗会でサポカーを体験

ディーラーは車両提供で協力

札幌・室蘭地区では、自動車業界団体がさまざまな形で交通安全の啓発活動を推進している。北海道と北海道警察が9月12日に札幌運輸支局で開催した安全運転サポート車の体験試乗会では、日本自動車連盟（JAF）札幌支部（西川友晴支部長）が座学で、日本自動車販売協会連合会（自販連）札幌支部（池田義典支部長）の会員ディーラーが試乗車の提供などで協力した。札幌地方自動車整備振興会（横井隆会長）はマイカー点検教室を開催するなど業界が一体となって交通事故防止に取り組んだ。

自販連札幌支部は今年度5回目の「交通安全人の波運動」を9月10日に実施した。同支部の職員や会員ディーラーの社員らが通勤時間帯に沿道に立ち、事故防止のメッセージが書かれた黄旗を持って運転者の安全運転意識の高揚を図った。

札幌地区自家用自動車協会（竹内巖会長）は、札幌市内の166校の小学1年生約1万3千人に交通ルールを学べる「自習ノート」を寄贈した。4月21日に同市立の新発寒小学校と東橋小学校で寄贈式を実施した。



自販連札幌支部の職員らが黄旗を持ち交通安全を呼びかけた

函館地区

「スピードダウン」「ダメ！飲酒運転」

街頭に立ち〝旗の波作戦〟

函館地区では、日本自動車販売協会連合会（自販連）函館支部（河村祥史支部長）と日本自動車連盟（JAF）函館支部（同）が連携し、秋の全国交通安全運動（9月21～30日）に合わせて啓発活動を実施した。

自販連函館支部独自の取り組みには会員ディーラー全17社とJAF函館支部が参加した。21～30日の期間中、各社はスケジュールに基づいて、担当日の交通量の多い時間帯に、本社前の歩道でのぼり旗や手旗、ハンドプレートを持って自動車の運転者に交通安全を呼びかけた。全体で168人が参加し、啓発活動を通じて交通安全の意識向上を図った。

函館市が30日に開催した街頭啓発活動「旗の波作戦」には、自販連函館支部の会員12社と事務局、JAF函館支部から計29人が参加した。函館競輪場近くの国道278号（漁火通）などの道路沿いの歩道に立ち、「スピードダウン」「ダメ！飲酒運転」などと書かれた手旗を持って運転者に交通安全の注意喚起を図った。同活動の参加者は他団体や町会なども含め、約170人だった。



会員販社の社員らが手旗を持って啓発活動を実施した

旭川地区

子どもたちの事故防止へ

自治体に安全啓発グッズ配布

旭川地区では子どもたちの安全を確保する活動にも力を入れる。旭川地方自家用自動車協会（金谷和文会長）は、管内の自治体に交通安全啓発グッズを寄贈し、小学校の入学児童に交通安全を啓発する。旭川市、名寄市、士別市を対象に視認性の高い傘や反照材、交通安全教室で使用するダミー人形などを贈った。

この取り組みは「少子化でも長く地域にとどまり、活躍してもらえるよう事故防止に役立ててほしい」（金谷会長）との思いで実施しており、事故のない学校生活に役立ててもらう。

ディーラーは、損害保険会社と連携して安全な交通社会の実現に貢献する。旭川地区トヨタ会は、あいおいニッセイ同和損害保険のテレマティクスタグを使用した交通安全マップを旭川市に寄贈した。マップは、同会が主体となって実施したドライブコンテストで集積したデータを基に作製し、加減速や運転中のスマートフォン使用といった項目を採点している。これらから、市内の危険が潜むエリアを可視化して安全なまちづくりに役立ててもらう。


旭川地方自家用自動車協会は自治体にダミー人形などを贈った

私たちは、交通事故のない明るい車社会をめざします。

一般財団法人 日本自動車査定協会
函館支所
支所長 堀田易
事務長 松浦眞人
函館市西桔梗町五五五番地三七
電話（〇一三八）四九―四五三三

一般財団法人 日本自動車査定協会
北見支所
支所長 大田成稔
事務長 藤井芳美
北見市東三輪五丁目五番地一三
電話（〇一五七）二四―八三二一（代表）

一般財団法人 日本自動車査定協会
旭川支所
支所長 西河秀人
事務長 牛田勝也
旭川市春光町一〇番地
電話（〇一六六）五一―九四五六

一般財団法人 日本自動車査定協会
札幌支所
支所長 越川裕一郎
事務長 西田俊晴
札幌市東区北二八条東一丁目
札幌自動車会館四階
電話（〇一一）七〇四―四一九五
FAX（〇一一）七〇四―四一九二

一社団法人 日本自動車連盟（JAF）
函館支部
支部長 河村祥史
函館市西桔梗町五八九―二一
電話（〇一三八）四九―四五三四

一社団法人 日本自動車連盟（JAF）
帯広支部
支部長 石原直樹
帯広市西八条北一丁目一四番一号
電話（〇一五五）二六―〇二六〇

一社団法人 札幌地区自家用自動車協会
会長 竹内巖
副会長 早坂喜幸
副会長 松下克則
専務理事 辻澤英隆
札幌市東区北三〇条東一丁目一番一号
電話（〇一一）七二一―八二〇一（代表）

一社団法人 旭川地方自家用自動車協会
会長 金谷和文
副会長 植平有治
副会長 遠藤穣
副会長 齋藤隆
専務理事 山田優
旭川市春光町一〇番地
電話（〇一六六）五一―二三一（代表）

一社団法人 北見地区自家用自動車協会
会長 小柳亨信
副会長 田中勝則
副会長 桑原賢史朗
専務理事 阿知良雄二
北見市東三輪三丁目二五番地六
電話（〇一五七）二四―六二七一

北海道自動車リース協会
会長 相茶省三
副会長 平川昌之
札幌市中央区北五条東二丁目一
トヨタレンタリース札幌内
電話（〇一一）二二二―七三三八



道内各地区 自動車業界の取り組み

帯広地区

500人出席して交通安全総決起大会
改めて無事故無違反誓う

帯広地区では、自動車業界を挙げて交通事故防止に取り組んでいる。自販連帯広支部交通安全対策推進協議会（若林剛会長）は7月に音更町文化センターで「自動車ディーラー職員交通安全総決起大会」を開催した。同支部の会員ディーラーの代表者や職員ら約500人が出席した。7～10月の123日間実施される「チャレンジ・セーフティラリー北海道2026」に1300人が参加し、期間中の無事故・無違反を目指す。

同会は9月24日に交通安全の街頭啓発活動を実施した。帯広市内の国道38号付近では、通勤時間帯に同支部の職員や会員ディーラーの社員らが「シートベルト着用」などのメッセージが書かれた手旗を持って歩道に立ち、運転者に対し交通安全の注意喚起を図った。

帯広地区安全運転管理者事業主会（石原英樹会長）などは10月21日、幕別町百年記念ホールで「十勝の住民と考える安全・安心の集い2026」を開催した。住民代表の安全・安心宣言や北海道警察音楽隊のコンサートを実施し、来場者に交通事故防止などを訴えた。



街頭啓発では手旗を持ち交通安全の意識高揚を図った

釧路地区

自転車でもヘルメットを
高校に寄贈 もっと習慣化

釧根自動車協会（近藤信也会長）や釧路地方自動車整備振興会（坂根篤理事長）などが参画するサイクルセーフティラリー946（くしろ）実行委員会事務局は釧路市内の高校にヘルメットを贈呈した。自転車利用者が事故に遭遇した際に頭部の負傷が致命傷になる割合が高いことから、ヘルメット着用の習慣化を図り、交通安全につなげている。今回は市内10校の生徒会に所属する生徒を対象に贈り、モデルケースとなってもらうことで全体の着用率改善を目指す。

道外から観光で訪れるユーザー向けには、釧根地区レンタカー協会（安宅英明会長）が安全を啓発する。定期的に釧路空港近隣のレンタカー店舗で道内ならではの注意喚起を行っている。秋の観光シーズンに合わせて9月に実施した活動では、同協会に加盟するレンタカー事業者5社や北海道警察、日本自動車連盟（JAF）、釧路市動物園などが参加。ヒグマや鹿、タンチョウとの衝突事故防止に加え、シートベルト着用や法定速度順守を啓発するチラシとノベルティーなどを配布した。


釧根地区レンタカー協会の啓発活動

北見地区

無事故無違反率9割超え
交通安全大会で優秀スタッフ表彰

日本自動車販売協会連合会（自販連）北見支部（河合昭徳支部長）は「第36回交通安全大会」を実施し、会員ディーラーで無事故無違反を続けるスタッフらを表彰した。2025年4月から1年間の活動には900人を超える参加があり、このうち1年以上無事故無違反の割合は91・8％と7年連続で90％超えを達成した。

同支部と北見地区軽自動車協会（佐野博会長）が開催した「新車・中古車オールディーラーフェア」では、日本自動車連盟（JAF）北見支部（村井彰支部長）が後席乗車時のシートベルト装着の必要性など伝える「VRゴーグル」を初出展。反射神経を測定する「クイックキャッチ」で危機回避能力を確認してもらうとともに、同乗者の安全確保の必要性も啓発した。

北海道運輸局と自動車技術総合機構は北海道北見方面北見警察署で「不正改造車の事例と対処法に関する出前講座」を実施した。同講座は北見管内では初めて。道路運送車両関係法令の座学と計測器を用いた測定実習を実施し、不正改造車の取り締まり強化につなげる。



自販連北見支部の交通安全大会

安全で、安心な交通社会の実現を願って!

お客様の安心・安全を全力サポート
札幌トヨタ
代表取締役会長兼社長　相茶省三
本社／札幌市中央区北1条西7丁目3番地8　0120-030040

地域の未来に“ワクドキ”を。
旭川トヨタ
代表取締役社長　西河秀人
本社／旭川市4条通2丁目　TEL0166-22-6111

未来へ走り出そう、あなたと最高の1台と共に。
函館トヨタ
代表取締役社長　堀田易
本社／函館市昭和4丁目22番5号　TEL0138-41-6191

AGH トヨタ札幌
代表取締役社長　西川友晴
本社／札幌市豊平区美園3条6丁目3番10号

ATPグループ
旭川トヨペット
ネッツトヨタたいせつ
代表取締役社長　遠藤穣
本社／旭川市神居8条1丁目　TEL 0166-62-5111（代表）

トヨタモビリティ釧路
代表取締役社長　工藤健雄
本社／釧路市堀川町6番14号　TEL 0154-23-2435（代表）

函館トヨペット
代表取締役社長　河村賢治
本社／函館市石川町169番地35　TEL0138-46-2111

あなたの街で心から愛される車をおとどけする
トヨタカローラ旭川
代表取締役社長　寺澤和久
本社／旭川市忠和5条8丁目　TEL0166-62-3331（代表）

トヨタカローラ道北
代表取締役社長　岡田和人
本社／旭川市大雪通7丁目506　TEL0166-26-2415（代表）

トヨタカローラ苫小牧
取締役兼執行役員社長　髙野正勝
本社／苫小牧市柳町4丁目6番32号　TEL0144-55-7211（代表）

Netz ネッツトヨタ札幌
代表取締役社長　鎌田直之
本社／札幌市東区北25条東1丁目1番38号　TEL011-731-4111（代表）

Netz ネッツトヨタ道都
代表取締役社長　内間木忠行
本社／札幌市中央区宮の森4条1丁目3番1号　TEL.011-631-3181（代表）

Netz ネッツトヨタ北見
代表取締役社長　河合昭徳
本社／北見市東三輪3丁目22番地　TEL 0157-24-0010

Netz ネッツトヨタ苫小牧
代表取締役社長　大島光太郎
本社／苫小牧市新中野町3丁目1番4号　☎0144-34-2121（代表）

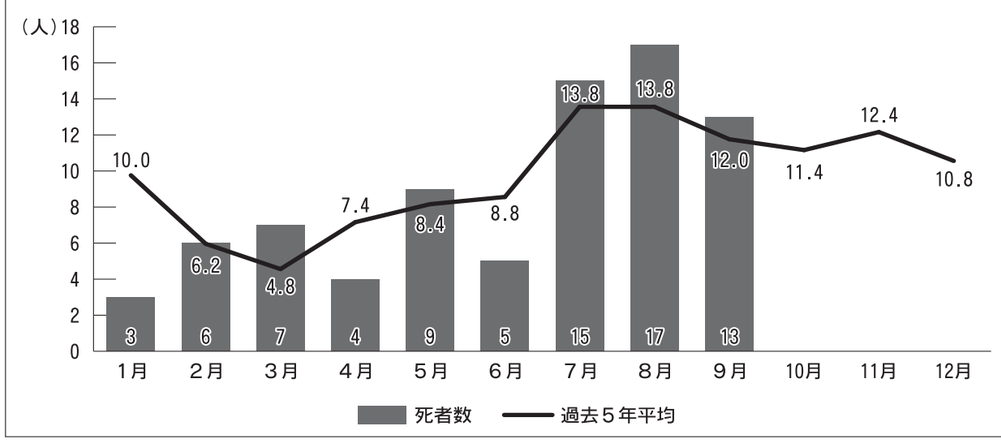
トヨタレンタリース旭川
代表取締役社長　後藤暁人
本社／旭川市物流団地1条1丁目1番27号　TEL0166-57-0100（代表）

1～8月　道内交通事故概況

5835件 死者66人

なお目立つ「高齢者」

2026年月別道内交通事故死者数



2026年１～８月道内交通事故発生状況

区分／方面別	発生件数			死者数			傷者数		
	26年	25年	増減	26年	25年	増減	26年	25年	増減
札幌方面	4,383	3,799	584	37	32	5	5,192	4,407	785
函館方面	372	363	9	8	4	4	462	440	22
旭川方面	531	480	51	6	7	-1	635	556	79
釧路方面	414	430	-16	12	18	-6	455	484	-29
北見方面	135	146	-11	3	12	-9	169	163	6
全　道	5,835	5,218	617	66	73	-7	6,913	6,050	863

単位:件、人

札幌方面が半数超

北海道警察本部がまとめた2026年1～8月の道内交通事故発生状況は、発生件数が5835件、死者数が66人、傷者数が6913人だった。前年同期に比べ発生件数は617件、傷者数は863人増加したのに対し、死者数は7人減少した。死者数については過去5年平均（73・2人）を下回っている。

死者数の方面別の発生状況は、札幌方面が37人と半数以上を占めた。釧路方面は12人、函館方面は8人、旭川方面は6人、北見方面は3人だった。前年同期に比べ、釧路と旭川、北見は減少したが、札幌と函館は増加している。

月別の発生状況は、1～6月まで1桁で推移していたが、7月以降は2カ月連続で2桁となった。7、8月については、いずれも過去5年平均を上回っている。

期中の死亡事故の特徴についても分析している。「道路別」は国道が30人と最も多く、道道が16人、市町村道が15人、高速道路が3人、その他の道路が2人だった。国道の主な内訳は市街地交差点が9人、非市街地カーブが7人。

「時間別」は、午後8～10時が10人で最多だった。午前8～10時と午後6～8時は各8人。午後8～10時の主な内訳は車両単独が5人、正面衝突が2人だった。

「事故類型別」は人対車両（20人）と車両単独（19人）で半数以上を占めた。車両相互のうち正面衝突は11人、追突は1人、出合い頭は6人。自転車対車は2人、列車は1人だった。

人対車両の主な内訳は前方不注意が8人、その他（歩行者妨害を含む）が7人。車両単独の主な内訳は操作不適と前方不注意が各4人だった。

シートベルトを着用していれば

「第一当事者の年齢層別」は、65歳以上の高齢運転者が19人と最多で、50歳代運転者は14人、40歳代運転者は10人、25歳未満運転者は9人だった。高齢運転者の主な内訳は車両単独が7人、正面衝突が5人。

「第一当事者の違反」は、安全運転義務違反の前方不注意が19人と最多で、その他（歩行者妨害を含む）は16人だった。前方不注意では40歳代運転者と50歳代運転者、高齢運転者による死者が各5人となっている。

「地形・道路形状別」は市街地が39人、非市街地が27人。市街地の内訳は交差点21人、直線14人、カーブ4人に対し、非市街地の内訳は交差点4人、直線11人、カーブ12人で対照的となっている。市街地交差点の主な内訳は人対車両が10人、出合い頭が3人。

「曜日別」は月曜と火曜が各11人、日曜と木曜、土曜が各10人だった。月曜の主な内訳は業務中と通勤が各2人、火曜は観光・娯楽が3人、業務と通勤が各2人。

「状態別・年齢層別」でみると、状態別は四輪乗車中（特殊車を含む）が37人と最多で、歩行中は20人だった。年齢層別は高齢者が35人と半数を占め、50歳代は10人だった。

「シートベルト着用状況別」では、四輪乗車中の死者36人のうち、シートベルト非着用者は16人だった。非着用者16人のうち、14人は車両の破損状況などからみて、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高いと指摘している。

道警本部によると、高齢運転者が当時者となる交通死亡事故は9月中も続発した。道内の自動車業界では高齢者の事故防止に向けた活動にも取り組んでいる。

日本自動車連盟（JAF）札幌支部（西川友晴支部長）は、9月12日に札幌運転免許試験場（札幌市手稲区）で「ドライバーズセミナー　シニアコース」を開催した。全日本交通安全協会（宗岡正二会長）との共催で、50～80歳の男女16人が参加した。座ってできるドライビングストレッチや日常点検、運転姿勢や車の死角の確認に取り組んだほか、実際にマイカーを運転して見通しの悪い交差点の通過方法や急ブレーキ時の制動距離について学んだ。

第一当事者　65歳以上が最多



JAF札幌支部のシニア向けドライバーズセミナー

私たちは、交通事故のない明るい車社会をめざします。

トヨタレンタリース釧路
代表取締役社長　安　宅　英　明
本社／釧路市栄町12-1　TEL0154-23-0100（年中無休）

Honda Cars 北海道
株式会社ホンダモビリティ北海道
代表取締役社長　山　田　智　儀
本社／札幌市北区北6条西1丁目1-3　The Link Sapporo 5F　TEL011-391-0111

Honda Cars 札幌中央
株式会社ホンダカーズ札幌中央
代表取締役社長　髙　田　靖　久
本社／札幌市白石区南郷通3丁目南7番13号　TEL011-868-8122

Honda Cars 南札幌／西釧路
SWCホンダ株式会社
代表取締役社長　越　川　裕一郎
本社／札幌市中央区南25条西11丁目1-7　TEL011-551-8141（代表）

Honda Cars 旭川
株式会社ホンダカーズ旭川
代表取締役　松　倉　直　幸
本社／旭川市神楽5条9丁目1-3　TEL0166-69-5500

Honda Cars 北見
株式会社ホンダ販売北見
代表取締役社長　佐　野　厚　志
本社／北見市小泉411-4　TEL0157-24-8921（代表）

Honda Cars 帯広
株式会社ホンダカーズ帯広
代表取締役社長　大　西　啓　文
本社／帯広市大通南11丁目17-2　TEL0155-67-7019

全道51店舗のネットワーク
北海道マツダ販売株式会社
代表取締役社長　横井 隆
〒060-0032 札幌市中央区北2条東1丁目1番地　TEL.011-221-9181
ホームページアドレス http://www.hokkaido-mazda.co.jp

北海道三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長　別　府　雅　史
本社／札幌市中央区南10条西10丁目1番地15号　TEL011-511-3111



TAKIKAWA JIKOU 株式会社 滝川自工
代表取締役会長　瀧　川　雅　司
代表取締役社長　瀧　川　琢　朗
本社／札幌市白石区東札幌1条4丁目1-39　TEL011-811-2165（代表）

TAKIKAWA Group 豊和自動車株式会社
代表取締役会長　瀧　川　雅　司
代表取締役社長　瀧　川　良　規
菊水店／札幌市白石区菊水9条4丁目2-4　TEL011-821-0061

IP21車検 加盟店
ISO9001認証取得（車検業務）
ISO14001認証取得
日北自動車工業株式会社
代表取締役社長　丹　野　　司
本社／札幌市清田区美しが丘1条3丁目1-10　TEL011-881-1111（代表）

3R事業を通しての社会貢献
伊丹車輌株式会社
代表取締役社長　伊　丹　勇　人
本　　社／札幌市白石区菊水元町1条2丁目　TEL(011)871-2580(代)　FAX(011)872-8111
アルヨ北広島店／北広島市輪厚630　TEL(011)376-3600(代)　FAX(011)370-3756